

Hult Prize 琉球大学
学生運営委員会代表 銘苅隆磨



企画書（ハルトプライズ・琉球大学）

目的:

琉球大学において、Hult Prize（ハルトプライズ）の On Campus Program の企画・運営を通して、Regional Summit への進出者を選出し、琉球大学から世界への社会問題を解決する社会起業家を輩出する。また、社会問題と起業に関するイベントの開催を通して、国際化や起業家意識の向上を目指す。

Hult Prize の概要:

Hult Prize はビジネスを用いてグローバルな社会問題を解決するための、世界最大規模の社会起業家プラットフォームである。毎年世界から 200 万人以上の学生が参加し、グローバルな課題を解決するためのアイデアを創出している。最優秀アイデアには百万ドル（約 1 億円）を出資することで事業化の加速を図っており、「学生のノーベル平和賞」とも称せられている。

毎年、元米国大統領ビル・クリントン氏、国連スタッフ、Hult Prize メンバーによって決定される SDGs（持続可能な開発目標）に基づいたテーマが、9 月にビル・クリントン氏によって発表される。このテーマに基づき、3~4 人のチームでビジネスアイデアを、英語で 10 分間（6 分: プレゼンテーション、4 分: 質疑応答）で発表し、審査員によって最優秀チームが選出される。

オフィシャルパートナーとして、国連をはじめ、ビル・クリントン氏、EF（Education First）、Hult International Business School などが挙げられる。Hult Prize の最大の特徴は、1 年間通して学生を支援してくれるカリキュラムを設けていることである。学内大会である On Campus Final で勝ち進むと、Regional Summit、Accerelator Program、国連本部で行われるグローバルファイナルへと進むことが可能である。このように、Hult Prize は日本の学生が社会問題に対してチャレンジできる環境を作っている。

On Campus Final の仕組み:

On Campus Final では、参加する学生が 3~4 人でチームを組み、6 分間のプレゼンテーションと 4 分間の質疑応答の計 10 分間で自身のアイデアを発表する。大会の進行、発表、質疑応答は全て英語で行われる。

以下は、On Campus Program 以降、Global Final までの流れとなっている。

- **Regional Summit**
ボストン、サンフランシスコ、ロンドン、上海を含む 27 会場（'19 年度）で **Regional Summit** が開催される。世界の各大学から 27 会場に集まり、学内大会と同様にビジネスプランをピッチする。優勝チームは **Accelerator Program** へ進出できる。
- **Accelerator Program**
世界各国の **Regional Summit** で優勝したチームは、6 週間に渡って行われる **Accelerator Program** へ参加する権利を得て、ビジネスプランのブラッシュアップを行う。その後、トップ 6 チームが **Global Final** に進出できる。
- **Global Final**
世界トップ 6 のチームがニューヨークの国連本部において、百万ドル（約 1 億円）のシード投資をかけて競い合う。ここで優勝したチームにシード投資が与えられ、社会起業家としての企業がサポートされる。

On Campus Program について:

Hult Prize の第一次予選ともいべきスタートアップ・プログラムであり、大学生及び大学院生が Hult Prize からの開催に必要な権限の委託を受け、在学する大学及び大学院にて約 3 ヶ月間の期間をかけチームの募集、説明会から **On Campus Final** を開催するまでの一連のプログラムである。**On Campus Final** では琉球大学に審査員（起業家や企業の役員など）を招待し、学生が考案したいビジネスプランを英語でプレゼンテーションをする。優勝チームは、**Regional Summit** に参加する権利を得る。

Hult Prize の 1 年間のプログラム:

Hult Prize は 1 年間の、以下のプログラムを経て勝者チームを決める。具体的な流れは以下の通りである。優勝チームには海外の学生と競うチャンスが与えられる。



琉球大学での On Campus Program の位置付けと仕組み:

1. 琉球大学のミッションである「沖縄や日本、世界に貢献できる人材を育成し輩出する」に則って、ハルトプライズ琉球大学は「グローバル人材」を輩出することを目標とする。
2. 「グローバル人材」とは、グローバルトレンドと関連している SDGs への活動を通して、経済価値と社会価値を生み出す人材である。
3. 国連の持続可能な開発目標(SDGs)実現に不可欠な Innovation & Entrepreneurship が本学に、そして沖縄に根付くよう実績を積み重ねながら強くアピールしていく。
4. 沖縄でトップ人財の発掘・育成を行うのではなく、ボトムアップから人財を発掘していく。これによって、年齢や性別、国籍、能力を問わず様々な学生に機会を提供し、多様性のある大会を運営していく。この多様性が生まれることによって、それがアイデアの質につながると考える。
5. ハルトプライズ琉球大学の短期的な目標（3年間）は、100万ドルの投資価値があるビジネスプランを学生に考案してもらうことを目標とせず、社会起業の基盤である経済価値と社会価値を生み出せるビジネスモデルを創り出すことである。

琉球大学学内大会概要

【開催日時】 2020年 12 月 20 日（日）、10:00~15:00（具体的な時間は後日共有します）

【開催場所】 オンライン（Zoom）

テーマ 『Food For Good - 食でより良い世界を』

1. 6分間のプレゼンテーションの審査の4分間の質疑応答における質疑とそれに伴う審査。
2. プレゼンテーション及び質疑応答は全て英語で行います。
3. 審査員によって最優秀チームが選出される。
4. 最優秀チームは、Regional Summitに参加する権利を得る。

2020 年度 Hult Prize 琉球大学運営メンバー

団体名	ハルトプライズ琉球大学		
顧問	国際地域創造学部 国際言語文化プログラム		
	教授 石川隆二		
運営部			
代表	法文学部 総合社会システム学科	銘莉隆磨	
副代表	観光産業科学部 観光産業科学科	知念杏珠	
メンバー	国際地域創造学部 国際地域創造学科	喜舎場大智	
	法文学部 国際言語文化学科	仲本莉里歌	
	理学部 海洋自然科学科化学系	高橋りな	
	国際地域創造学部 国際地域創造学科		
	Ngiraiwet Esilong Van Damme		



HULT
PRIZE



United Nations
Office for Partnerships

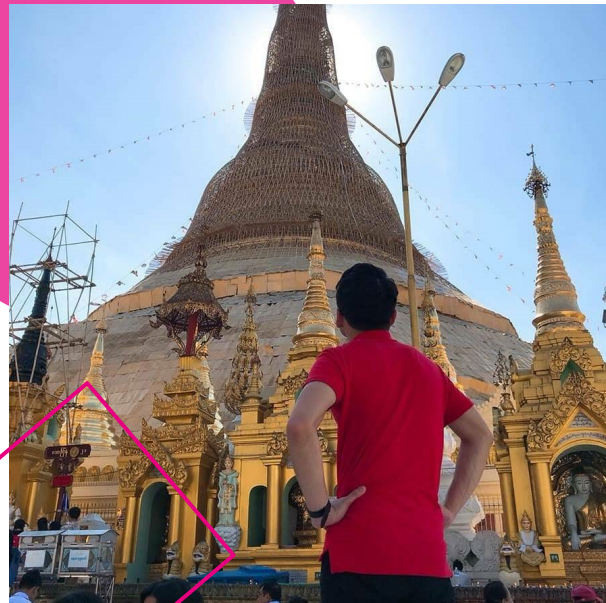
Leading a Generation To Change The World



Ryuma Mekarū

On Campus Director
at University of the Ryukyus

- タイへ1年の交換留学（社会起業を学ぶ）
- NGOなどでの海外長期インターンシップ
- 就活支援団体エンカレッジ（沖縄代表）
- 転職などの外国人採用のお手伝い
- 学習塾の先生





メンバー紹介



Anju Chinen



Ririka Nakamoto



Ngiraiwet Esilong Van
Damme “Esi”



Taichi Kishaba



Rina Takahashi





**The Hult Prize is
the world's biggest
engine for the launch
of for good, for-profit
enterprises emerging
from university.**

世界規模の社会起業アイデアコンテスト

学生の「ノーベル平和賞」と呼ばれる

優勝チームには約1億円が提供される

Leading a Generation To Change The World



世界の若者にインスピレーションと
知識、トレーニングを与える！

世界規模の社会起業プラットフォーム

世界120カ国以上から100万人の学生





On Campusから国連への流れ



September - December

March - April

July - August

5 weeks

Boston, MA, USA

September

1 week

United Nations, NY



- ・ 学内プログラムは、大学キャンパスでハルトプライズプログラムに参加する機会を学生に提供します
- ・ 100カ国以上の国、2000以上の大学
- ・ 各大学から1チームが優勝チームとして選ばれ、地区予選（地域別ファイナル）に進出





Regionals

Summits



- ・ 世界27カ所で開催される
- ・ 勝ち残ったチームは、来夏に開催される
アクセラレータプログラムに参加
- ・ 東京での地方大会には、世界200以上の
都市から集まった学生たちによる45チ
ームが集結した

hultprize.org



OnCampus

Regionals

Accelerator

UN Finals





10 YEARS
CELEBRATING
A DECADE
OF IMPACT





審査員紹介



株式会社ケイスリー 取締役
Chika Ochiai



OIST 研究者
Takanari Ichikawa



株式会社re:retta 代表取締役
Sayaka Watanabe



参加する学生への トレーニングの実施

参加学生への トレーニング

アイデア
づくり
サポート

プレゼンの
フィードバ
ック

hultprize.org

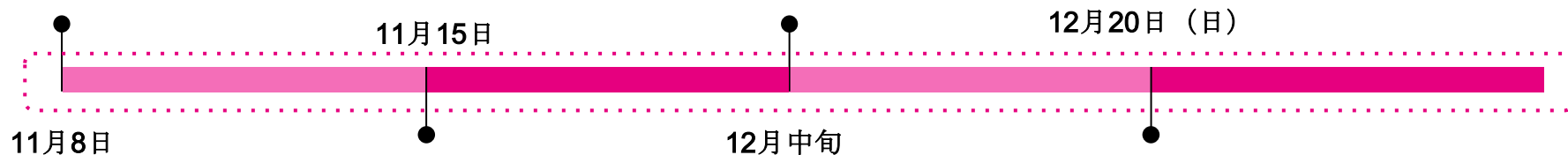




トレーニング内容と期間

- ①SDGsや社会問題について
- 社会問題への認識を高める

- ③中間発表&フィードバック会



- ②アイデアクリエーション
- 事例を踏まえながら良いアイデアとは？
ポイントをおさえる

- ④キャンパス大会当日



ゲストスピーカー紹介

Takashi Hiyane

代表取締役社長

at 株式会社レキサス

- 沖縄国際大学在学中にIT企業を起業
- その後独立し、1998年に株式会社レキサスを設立
- 2008年、沖縄の学生をシリコンバレーに派遣するRyukyufrogsを創立
- 2018年から現在まで、株式会社うむさんラボの代表取締役を務める





ゲストスピーカー紹介

Sayaka Watanabe

代表取締役社長

at 株式会社re:terra

- 国際基督教大学アジア研究専攻を卒業
- 2007年新卒として、IBMビジネスコンサルティングサービス（現日本IBM）に入社
- 独立後は、被災地での産業活性プロジェクトや途上国・新興国進出支援
- 現在は、AWSEN（アジア女性社会起業家ネットワーク）を通じて女性起業家を支援





メンター紹介



琉球ミライ株式会社/Hello World 株式会社
代表取締役社長/CEO Hikaru Nonaka



株式会社Gredge/持続可能な「食」を創造するために
代表取締役社長/CEO Junpei Aso





3つの創る

社会問題について考える
きっかけ・場所を創る

アントレプレナーシップを
持った学生を創る

持続可能な社会を創る

4 質の高い教育を
みんなに



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



10 人や国の不平等
をなくそう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう





ハルトプライズで 学べる・経験できること

- 1 SDGsへの理解を深めることができる
- 2 学部や国籍を超えた学生との交流
- 3 チームビルディングを学べる
- 4 英語でのプレゼンテーション力UP





Q&A

Q. 英語が話せなくても大丈夫ですか？

A. 英語が話せなくても問題は無いです（英語のトレーニングを用意しています）

Q. ビジネスの知識がなくても大丈夫ですか？

A. 現段階で、ビジネスの知識は必要ないです（学生向けにビジネスのトレーニングを用意しています）

Q. チームの編成はどのようにすればいいのですか？

A. 同じ学部友達や違う学部友達とチームとして申し込みができます。1、2人で申し込みをされた方は運営側がマッチングを行います。





3つの「創る」の 実現に向けて

～ ご清聴ありがとうございました～

ハルトプライズ
琉球大学運営チーム一同

Leading a Generation To Change The World